

## 水俣市新庁舎建設基本設計に関するパブリック・コメント(ご意見等)募集の実施結果

基本設計の項目	ご意見等	ご意見等に対する市の考え方
<b>設計趣旨、計画概要</b>		
【基本方針3】誰もが使いやすく、市民に親しまれる庁舎	旧庁舎において、地元の子供たちが待合場所として利用し、学習をしたりする光景も見受けられた。また、各種団体や部活動関係者も同じように旧庁舎を利用していた。このように、市役所に用事がない市民等が多く利用していただけるように、庁舎機能を考えてほしい。	基本構想に掲げている「誰もが使いやすく、市民に親しまれる庁舎」の実現に向けて、市民が気軽に訪れることができる明るく開放的な空間として、1階フロアに市民ギャラリー、観光情報コーナー、売店、イトイン・自習スペース等を確保しております。今後は、ご意見を参考に検討してまいります。
<b>配置計画</b>		
配置計画の考え方	県道側の主出入口が広くなり、配置計画の中で、みなくるバスのバス停や庇、バス待合等も計画されて高齢者等の利便性は向上すると思うが、将来的には、さらなる公共交通機関の充実をお願いしたい。	正面玄関付近に、みなくるバス、乗り合いタクシー等の乗降口を設けるほか、バス待合に空調設備を設置し、快適に待つことができる空間を確保しております。また、バス停までは庇を設置し、雨に濡れず、直接日光を避けて乗降できるよう計画しております。 なお、公共交通機関の充実につきましては、ご意見を参考に検討してまいります。
	旧庁舎敷地の範囲内で建設する計画となっているが、隣接する雨水幹線の一部暗渠化をはじめ、将来的には、学校敷地の活用も視野に入れて検討してほしい。	旧庁舎敷地周辺については、市民の利便性を考慮し、今後、雨水幹線の一部暗渠化ができないか協議を進めてまいります。また、学校敷地の活用につきましては、ご意見を参考に検討してまいります。
<b>平面計画(1)</b>		
1階:いつでも誰でも使いやすい市民交流ゾーン	売店機能の充実を図るほか、農産物フェアやイベント等の開催を検討して欲しい。	現在、1階フロアに売店や各種イベントができるスペース等を確保しております。今後は、実施設計の中で、関係者の意見等を踏まえながら検討してまいります。
<b>断面計画、景観計画</b>		
景観計画 ・素材感を活かし、自然と共存した、シンプルな外装	今回の新庁舎建設は、熊本地震で被災した市庁舎を建て替えるというところからスタートしている。計画に沿って円滑に事業を進めることはもとより、無駄を省き、適正な事業費の範囲内で建設するとともに、維持管理しやすい庁舎を目指して欲しい。その観点からも、屋上緑化は、他先進事例も調査しながら慎重にご検討いただきたい。	基本設計は基本構想を具体的な形にするものであり、実施設計は基本設計図書を基に具体的な仕様等を決定するものです。今後は、いただいたご意見を参考に、実施設計の中で設計者と各種計画や事業費、維持管理費等について協議し、精査してまいります。 また、屋上緑化等の景観については、他市町の事例を参考にしながら、検討してまいります。
<b>防災計画、ユニバーサルデザイン計画</b>		
ユニバーサルデザイン計画 ・総合案内、案内サイン	高齢者等に配慮して、ユニバーサルデザインを多く取り入れるほか、分かりやすい案内サインと案内サービスの提供をお願いしたい。	ユニバーサルデザインについては、国の「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準」及び熊本県の「高齢者、障害者等の自立と社会的活動への参加の促進に関する条例」等に基づき、実施設計の中で計画に盛り込んでまいります。 また、分かりやすい案内サインについては、設計者と協議しながら、市民目線に立ったサイン計画を検討していくほか、分かりやすい案内サービスの提供については、ご意見を参考に検討してまいります。